

いずみさの教育

NOW

問合せ
学校教育課
☎493-2091

不登校支援「いずみさの育 (iug) くみプラン」 ～学校の内外の多様な居場所や学びの場の充実をめざして～

子どもを取り巻く環境の変化や背景の複雑化により、暴力行為、いじめ、不登校などの生徒指導上の課題は解決すべき重大なものになっています。特に不登校対策については市としても重点的に取り組んでいます。

2016年に制定された「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」では、学校復帰を大前提としていた従来の不登校対策を転換し、学校外での「多様で適切な学習活動」の重要性が指摘されました。本市においてもこれまでの成果を踏まえ、学校の内外の多様な居場所や学びの場をより充実させるため、不登校支援対策として「いずみさの育 (iug) くみプラン」の取組を進めており、不登校支援、居場所となる取組として「いずみさの育 (iug) くみパレット」があります。大きく支援人材、支援機関の2つがあり、支援人材には家庭の教育機能総合支援員、不登校支援協力員、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー、子ども家庭アドバ

イザーなどがいます。支援機関は、教育支援センターのさわやかルーム、シャイン、ゆまにて、かぜまち、図書館、大阪府不登校支援センター、フリースクールなどがあります。

学校では不登校児童・生徒の状況に合わせて、学校、家庭、関係機関が連携した支援を行うことが必要です。子どもへのアプローチの方法を間違えると、不登校がより深刻化してしまうことにもなるため、学校は子どもの周辺情報をもとに、専門家のかわつた見立てを行うことで、子ども一人ひとりに合った適切な支援を行うことができます。子どもファーストで学校・保護者へのはたらきかけを行い、不登校の改善・解消へつなげていくことができています。

今後も今ある支援人材を拡充し、新たな支援機関と連携をとりながら、不登校支援をより充実させていきたいと考えています。不登校児童生徒だけではなく、すべての子どもにとって魅力ある学校づくりのため、学校・家庭・地域へのご支援ご協力をお願いいたします。

学校園紹介



第一小学校へようこそ！ ～第一小学校～

第一小学校の校訓は「気づき・考え・行なう」です。学校生活の様々な場面で、この校訓が身につくように取り組んでいます。

新6年生は、新年度最初の行事として入学式があります。準備は教職員と行き、新入生のため、6年生としての初仕事を一生懸命がんばりました。そうして迎えた入学式では、新1年生たちは少し緊張した様子でしたが、「これから始まる小学校生活をがんばろう、楽しみな」という気持ちが伝わってきました。

今年度は56人の新1年生を迎え、新年度が始まりました。新1年生は、入学当初は学校に慣れるために早く帰ります。午後の授業が始まったのは4月20日から



で、この日は今年度最初の「児童朝会」と「1年生を迎える会」がありました。会の中では各学年から歓迎の言葉やプレゼントが贈られ、最後には1年生からお礼の言葉もありました。

また、一小には「一小タイム」という縦割り活動があり、1年生から6年生までのグループで活動します。例えば、そうじの仕方について6年生から学び、1年生のそうじ分担箇所は6年生と一緒にしてくれます。この活動で1年生は高学年とふれあい、楽しい時間を過ごすことで、どんどん学校に慣れていきます。

いろいろな学校活動を経験し、早く学校に慣れ、学校生活を楽しんでほしいと思っています。



少人数特認校で素敵な思い出を ～大木小学校～



大木小学校は全校児童は28人で、一人ひとりの成長をていねいに見守ることができています。市内に住んでいたらどこからでも通える特認校です。豊かな自然に囲まれた素晴らしい環境にあり、この環境を活かそうと、教育活動の中に体験を通して学ぶ機会がたくさんあります。

【4月】学校の近くにある土手に行き「わらびとり」をします。ここでとったわらびを使って、高学年がわらびご飯のおむすびを配ってくれます。

【5月】学校の横を流れる「大木川」へ行き、川に住む様々な生き物について学ぶ「川たんけん」を行っています。

【6月】「大木たんけん」ということで大木地区の寺や神社、つり橋などの魅力的な場所へ行き、探検学習を行っています。

また、学校行事以外に地区の「盆おどり」「秋まつり」「もちつき」への参加など、いろいろな体験をすることができます。実際に体験することを通して、学ぶことのおもしろさを感じ、自分への自信を深めていく大木小学校の児童です。来年度の新入生を9月ごろから募集します。みなさんも大木小学校で学びませんか。

